平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場会社名　浜松ホトニクス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6965　URL　http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 晝馬　明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 嶋津　忠彦　TEL 053-452-2141

四半期報告書提出予定日　平成25年2月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	23,612	△0.3	3,477	△18.6	3,826	△14.1	2,568	△12.4
24年9月期第1四半期	23,674	△4.1	4,271	△13.7	4,454	△11.4	2,931	△1.6

(注)包括利益　25年9月期第1四半期　4,379百万円　(60.8%)　24年9月期第1四半期　2,724百万円　(12.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	31.95	―
24年9月期第1四半期	36.46	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	192,272	143,400	74.3
24年9月期	189,970	140,873	73.9

(参考) 自己資本　25年9月期第1四半期　142,827百万円　24年9月期　140,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	―	23.00	―	23.00	46.00
25年9月期	―				
25年9月期(予想)		23.00	―	23.00	46.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 9月期の連結業績予想(平成24年10月 1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,700	△0.1	8,300	△15.0	8,400	△17.5	5,500	△10.0	68.41
通期	101,800	3.8	16,700	△5.0	17,000	△7.4	11,400	1.7	141.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期1Q	83,764,984 株	24年9月期	83,764,984 株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	3,370,025 株	24年9月期	3,370,025 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期1Q	80,394,959 株	24年9月期1Q	80,394,959 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における経営環境は、非製造業における設備投資や個人消費に底堅さは見られたものの、海外経済の影響などから製造業の設備投資を中心として減速傾向を強める中で推移いたしました。また、海外経済を巡る不確実性も依然として高く、景気の先行きは弱含みの展開が続く中で推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、長年に渡り培ってきた当社独自の光技術を活かした研究開発を推進し、顧客ニーズに応えた製品の開発を展開する一方で、新たに国内営業拠点を開設する等、積極的な営業活動に努めることで、売上高、利益の増加に努力してまいりました。

当第１四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は23,612百万円と前年同期に比べ62百万円（0.3%）の減少となりました。また、利益面につきましても、営業利益は3,477百万円と前年同期に比べ794百万円（18.6%）の減少、経常利益は3,826百万円と前年同期に比べ627百万円（14.1%）の減少、四半期純利益は2,568百万円と前年同期に比べ362百万円（12.4%）の減少となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔電子管事業〕

光電子増倍管は、医用分野におきまして、核医学検査装置のガンマカメラ用は堅調に推移したものの、ＰＥＴ用は北米を中心に高額設備抑制により売上げが減少、また計測機器向けの売上げも国内外で減少いたしました。イメージ機器及び光源は、Ｘ線画像を可視像に変換するＸ線シンチレータの売上げが、北米を中心に堅調に推移したものの、ステルスダイシングエンジンなど産業用機器向けの売上げが国内及びアジアを中心に減少いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は9,886百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は3,526百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

〔光半導体事業〕

光半導体素子は、主力のシリコンフォトダイオードが、国内を中心に、計測機器及び産業用機器向けの売上げが伸び悩んだものの、医用分野におきましては、国内外ともに堅調に推移いたしました。また、産業用機器向けのイメージセンサが、北米を中心に売上げを伸ばしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は10,125百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は3,058百万円（前年同期比16.1%減）となりました。

〔画像計測機器事業〕

画像処理・計測装置は、国内における売上げは伸び悩んだものの、産業分野におきましては半導体検査装置が、医用分野におきましてはＦＤＳＳ（ドラッグスクリーニングシステム）が、またバイオ分野などの研究開発用途向けのデジタルカメラが、国外において売上げを伸ばしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は2,955百万円（前年同期比31.2%増）、営業利益は246百万円（前年同期は営業利益１百万円）となりました。

〔その他事業〕

主に半導体レーザー事業及びホテル事業等であります。

当セグメント（その他）の売上高は644百万円（前年同期比11.6%減）、営業損失は61百万円（前年同期は営業損失126百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

流動資産の主な変動は、受取手形及び売掛金が203百万円減少したものの、たな卸資産が1,428百万円、現金及び預金が1,237百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ2,373百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、投資有価証券が時価評価により153百万円増加したものの、建設仮勘定、建物及び構築物の減少などにより、有形固定資産が286百万円減少したことから、固定資産は前連結会計年度末に比べ70百万円減少しております。

この結果、当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,302百万円増加し、192,272百万円となりました。

流動負債の主な変動は、支払手形及び買掛金、預り金（流動負債のその他）が増加したものの、賞与引当金が1,509百万円減少したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ２百万円減少しております。

固定負債の主な変動は、退職給付引当金が159百万円減少したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ222百万円減少しております。

この結果、当第１四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ224百万円減少し、48,872百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が1,671百万円増加したほか、四半期純利益の計上により利益剰余金が716百万円増加したことなどから、当第１四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ2,527百万円増加し、143,400百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年９月期の第２四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月12日付けで公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、１米ドル＝80円、１ユーロ＝95円を想定しております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年10月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,559	75,796
受取手形及び売掛金	23,469	23,265
商品及び製品	6,446	6,734
仕掛品	12,430	13,174
原材料及び貯蔵品	5,478	5,873
その他	4,747	4,667
貸倒引当金	△134	△143
流動資産合計	126,996	129,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,150	21,995
機械装置及び運搬具（純額）	7,808	8,060
工具、器具及び備品（純額）	3,180	3,300
土地	15,149	15,204
リース資産（純額）	239	214
建設仮勘定	2,831	2,297
有形固定資産合計	51,359	51,072
無形固定資産	1,669	1,699
投資その他の資産		
投資有価証券	2,004	2,158
繰延税金資産	6,372	6,380
その他	1,586	1,610
貸倒引当金	△18	△19
投資その他の資産合計	9,944	10,130
固定資産合計	62,973	62,902
資産合計	189,970	192,272
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,657	12,391
短期借入金	1,345	1,291
1年内返済予定の長期借入金	3,290	3,281
未払法人税等	1,321	1,469
賞与引当金	3,033	1,524
その他	9,020	9,709
流動負債合計	29,669	29,667

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年９月30日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
固定負債		
長期借入金	4,123	4,083
退職給付引当金	13,371	13,211
役員退職慰労引当金	1,370	―
その他	562	1,909
固定負債合計	19,427	19,204
負債合計	49,097	48,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	82,484	83,201
自己株式	△6,048	△6,048
株主資本合計	146,038	146,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	294
為替換算調整勘定	△5,892	△4,220
その他の包括利益累計額合計	△5,734	△3,926
少数株主持分	569	572
純資産合計	140,873	143,400
負債純資産合計	189,970	192,272

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	23,674	23,612
売上原価	11,300	11,893
売上総利益	12,373	11,718
販売費及び一般管理費	8,102	8,241
営業利益	4,271	3,477
営業外収益		
受取利息	41	48
投資不動産賃貸料	36	8
為替差益	49	226
持分法による投資利益	31	30
その他	71	78
営業外収益合計	230	391
営業外費用		
支払利息	29	26
不動産賃貸費用	14	12
その他	3	2
営業外費用合計	47	41
経常利益	4,454	3,826
特別利益		
固定資産売却益	5	0
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産売却損	0	6
固定資産除却損	9	6
投資有価証券評価損	1	－
特別損失合計	10	13
税金等調整前四半期純利益	4,448	3,814
法人税等	1,492	1,234
少数株主損益調整前四半期純利益	2,956	2,579
少数株主利益	24	10
四半期純利益	2,931	2,568

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年10月１日 至　平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,956	2,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	136
為替換算調整勘定	△178	1,672
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△8
その他の包括利益合計	△231	1,800
四半期包括利益	2,724	4,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,711	4,376
少数株主に係る四半期包括利益	12	3

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成23年10月１日　至　平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	電子管	光半導体	画像計測機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,613	10,079	2,252	22,945	728	23,674	―	23,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	299	100	7	407	130	537	△537	―
計	10,912	10,180	2,260	23,353	858	24,212	△537	23,674
セグメント利益又は損失（△）	4,103	3,645	1	7,750	△126	7,624	△3,352	4,271

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。
２　セグメント利益の調整額△3,352百万円には、セグメント間取引消去△172百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,180百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成24年10月１日　至　平成24年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	電子管	光半導体	画像計測機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,886	10,125	2,955	22,967	644	23,612	―	23,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	322	120	12	456	178	634	△634	―
計	10,209	10,246	2,967	23,423	822	24,246	△634	23,612
セグメント利益又は損失（△）	3,526	3,058	246	6,831	△61	6,769	△3,292	3,477

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。
２　セグメント利益の調整額△3,292百万円には、セグメント間取引消去△187百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,105百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。